

平成29年度 事業報告書

自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

平成28年度に会員増強5%以上を達成した認可団体に成功例をアンケートし、これをまとめ、全国認可団体へ紹介、又その他の認可団体からも成功例を広く集め紹介し、活動の支援を行った。さらに、平成29年度会員10%増強運動の評価基準を設定し、全国認可団体へ知らせると共に、達成団体を平成30年9月23日（日）、名古屋で開催される全国吟道大会で表彰する事とした。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

（1）少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を2地区2会場で下記のとおり開催した。

- ① 平成29年5月28日（日） 神静地区 横浜市鶴見公会堂
- ② 平成29年7月17日（月・祝）長野地区 キッセイ文化ホール

（2）尚歯会全国吟道大会・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

70歳以上を対象に大会を開催した。

「尚歯会吟詠大会」を7地域で開催した。

- ア 平成29年 8月16日（水）東 京 東部フレンドホール
- イ 平成29年10月 4日（水）埼 玉 朝霞市コミュニティセンター
- ウ 平成29年10月 4日（水）神奈川 鶴見公会堂
- エ 平成30年 2月22日（木）九州南 ニューホテルはやた
- オ 平成30年 3月 4日（日）福 岡 クローバーホール
- カ 平成30年 3月11日（日）静 岡 浜松市浜北文化センター
- キ 平成30年 3月24日（土）長 野 ドライブイン「おぎのや」特設会場

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

（1）準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体の資格審査申請に基づき認定証（許證）を交付した。

（2）師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「師範審査会及び研修講座」を下記のとおり4会場で開催し、全国から受審者が参加して実施した。なお、資格審査合格者144名に認定証（許證）を交付した。

- ① 平成29年 8月19日（土）札幌会場 札幌市教育文化会館
- ② 平成29年10月21日（土）東京会場 吟道会館
- ③ 平成29年11月25日（土）大阪会場 大阪リバーサイドホテル
- ④ 平成30年 2月10日（土）東京会場 吟道会館

（3）正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「正師範審査会及び研修講座」を平成29年8月26日（土）、吟道会館で開催した。

なお、資格審査合格者41名に認定証（許證）を交付した。

(4) 上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「上席師範審査会及び研修講座」を平成29年6月30日（金）、長野県諏訪市の木村岳風記念館・吟道研修センターで開催した。

なお、資格審査合格者22名に認定証（許證）を授与した。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本の作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）、（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『俳諧歌撰』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）、（下）』などを作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、認可団体・認承団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付した（配付総数約67万部）。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第63回夏季吟道大学講座」を平成29年7月22日（土）～23日（日）、東京の日本教育会館に於いて、全国から会員及び会員以外の詩吟愛好者782名が参加して開催した。なお、外部講師2名と内部講師6名計8名で実施した。

(2) 地区吟道講座

「地区吟道講座」を下記のとおり全国10地区10会場（北海道・東北・関東・神静・長野・中部・北陸・近畿・中国四国・九州）で開催した。

なお、講師は「全国吟道講座」の講師と各地区の講師計4名で実施した。

ア	平成29年	9月10日（日）	九州地区	メートプラザ佐賀（佐賀）
イ	平成29年	9月17日（日）	東北地区	天童市市民文化会館（山形）
ウ	平成29年	9月18日（月・祝）	北陸地区	アイザック小杉文化ホール ラ・ポール（富山）
エ	平成29年	9月23日（土・祝）	神静地区	三島市民文化会館（静岡）
オ	平成29年10月	1日（日）	中部地区	津島市文化会館（愛知）
カ	平成29年11月	19日（日）	関東地区	日本教育会館（東京）
キ	平成29年11月	23日（木・祝）	長野地区	ライフプラザマリオ（長野）
ク	平成29年11月	26日（日）	北海道地区	道新ホール（北海道）
ケ	平成29年11月	26日（日）	中国四国地区	JA岡山ビル（岡山）
コ	平成30年	1月13日（土）	近畿地区	大阪国際交流センター（大阪）

(3) 特別講座

①「地区吟道講座の講師研修会」を平成29年4月14日（金）～15日（土）、岳風会館・吟道研修センターに於いて開催した。

②「俳諧歌ほか吟詠講座」を平成29年12月9日（土）、平成30年1月13日（土）、吟道会館に於いて開催した。

(4) 木村岳風記念館吟詠講座

「俳諧歌ほか吟詠講座」を平成30年3月28日（水）～30日（金）、木村岳風記念館・吟道研修センターに於いて開催した。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「日中国交正常化45周年記念 平成29年度 中国移動教室」として、平成29年5月15日（月）～5月20日（土）まで5泊6日で『蜀の国（四川省）に杜甫草堂、李白の故郷（江油）、三蘇（蘇洵、蘇軾、蘇轍）の故地と峨眉山を訪ねて』と題し、成都、綿陽を旅し、参加者40名で実施した。

(2) 国内移動教室

「平成29年度 国内移動教室」を平成29年9月13日(水)～9月14日(木) 1泊2日で松島を訪ね、『奥の細道』を題材とし、参加者51名で実施した。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を下記のとおり10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」合吟の競吟及び「全国優秀吟者吟道大会」出吟者の地区予選を行った。

- ① 平成29年4月16日(日) 北陸地区 アイザック小杉文化ホール ラ・ポール(富山)
- ② 平成29年4月29日(土・祝) 東北地区 日立システムズホール仙台(宮城)
- ③ 平成29年4月29日(土・祝) 神静地区 三島市民文化会館(静岡)
- ④ 平成29年4月29日(土・祝) 長野地区 辰野町民会館(長野)
- ⑤ 平成29年5月21日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- ⑥ 平成29年5月21日(日) 関東地区 メルパルクホール東京(東京)
- ⑦ 平成29年5月21日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
- ⑧ 平成29年5月21日(日) 九州地区 宮崎市民プラザオルブライトホール(宮崎)
- ⑨ 平成29年5月28日(日) 近畿地区 此花会館梅香殿(大阪)
- ⑩ 平成29年5月28日(日) 中国四国地区 観音寺市民会館(香川)

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を3地区で開催した。

- ① 平成29年6月15日(木) 神静地区 小田原市民会館(神奈川)
- ② 平成29年7月16日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- ③ 平成30年2月11日(日・祝) 関東地区 日本教育会館(東京)

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

① 全国吟道大会

「第128回全国吟道大会」を平成29年10月15日(日)、富山県射水市の高周波文化ホールに出吟者654名、入場者518名を全国より募集して開催した。なお、同大会の合吟競吟の最優秀チームに祖宗範木村岳風賞を贈った。

② 全国俳諧歌吟詠大会

「第5回全国俳諧歌吟詠大会」を平成29年6月29日(木)、長野県の諏訪市文化センターに於いて、各地区から推薦された出吟者609名、入場者166名により開催した。

③ 現代名吟鑑賞会

「現代名吟鑑賞会」を平成29年11月1日(水)、吟道会館に於いて、名吟家9名の吟と構成吟「平家物語」を216名が鑑賞した。

④ 全国青年吟道大会

「第5回全国青年吟道大会」を平成29年8月5日(土)、東京の小岩アーバンプラザに於いて、出吟者16歳以上35歳以下の青年63名及び青年OB42名、入場者252名が参加して開催した。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第24回全国優秀吟者吟道大会」を平成29年9月24日(日)、東京のメルパルクホール東京に於いて、全国10地区から選出された出吟者137名と入場者853名が参加して開催した。なお、漢詩・和歌・連吟の部のそれぞれ上位3組に賞状と副賞、次点者各2組に「努力賞」として賞状を授与した。

(3) 全国認可団体代表吟道大会(特別維持会員全国吟道大会)

「全国認可団体代表吟道大会(第1回特別維持会員全国吟道大会)」を平成30年3月11日(日)、東京の日経ホールに於いて、全国の特別維持会員より選ばれた誇りと責任を持った優秀な吟者204名と、入場者489名が参加して開催した。なお、独吟出吟者より特別賞として5名に賞状と副賞を授与した。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人の創設者(昭和11年日本詩吟学院創立)である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を一般に公開した。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

(1) 資格審査及び段伝位等の審査を行った。

(2) 定時社員総会

「第8回定時社員総会」を平成29年6月10日(土)、吟道会館に於いて開催し、下記について審議し、可決承認された。

①平成28年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録承認の件

②定款一部変更の件

③普通会员の内、一般会員の会費改定の件

④認可団体会員数改定の件

(3) 元老・相談役・参与合同会議

「平成29年度元老・相談役・参与合同会議」を平成30年3月9日(金)、吟道会館に於いて開催し、「平成30年度事業計画及び収支予算の件」、「会員10%増強運動」及び「定款施行細則並びに諸規程改定及び事務手続きのしおりの変更」について説明し、質疑応答を行った。

(4) 特別維持委員会会議

「第6回特別維持委員会会議(吟の総会)」を平成30年3月10日(土)、吟道会館に於いて開催し、「平成30年度事業計画及び収支予算の件」、「会員10%増強運動」及び「定款施行細則並びに諸規程改定及び事務手続きのしおりの変更」について説明し、質疑応答を行った。その後吉崎一衛二松學舎大学名誉教授による「日本漢詩」の講演が行われた。

(5) 認可団体連絡会議

「平成29年度認可団体連絡会議」を全国10地区で開催して、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体代表者と事務担当者が参加し、意見交換を行った。

①平成29年7月6日(木)長野地区 木村岳風記念館(長野)

②平成29年7月12日(水)関東地区 吟道会館(東京)

③平成29年7月12日(水)中国四国地区 アークホテル岡山(岡山)

④平成29年7月12日(水)九州地区 ホテルセントヒル長崎(長崎)

⑤平成29年8月1日(火)北海道地区 北海道立市民活動センター かでる2・7(北海道)

⑥平成29年8月8日(火)北陸地区 高岡市生涯学習センター(富山)

⑦平成29年8月19日(土)中部地区 甚目寺公民館(愛知)

⑧平成29年9月5日(火)東北地区 仙台市民会館 展示室ホール(宮城)

⑨平成29年9月6日(水)近畿地区 大阪リバーサイドホテル(大阪)

⑩平成29年9月14日(木)神静地区 三島市民文化会館(静岡)

(6) 研修会

①「師範研修会」を北海道490名、東京198名、大阪190名、福岡352名の4会場で開催した。講師は総本部理事及び外部講師で実施した。

②「吟道修学院」の教育を第1期院生35名を対象に優れた指導者の育成を図るため、岳風会館及び吟道会館で開催した。

(7) 認可団体及び認承団体の指導及び新設承認の件

①認可団体及び認承団体の要請に基づき、「定款」及び「定款施行細則並びに諸規程」に則り適切な指導を行った。

②申請に基づき、新潟岳風会(平成29年4月1日付)、秀風吟道会(平成29年10月1日付)を認承団体として承認した。

(8) 広報活動

ホームページの活用

①学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会などの募集案内などを、広報活動と情報公開の一環として掲載した。

②吟詠を視聴できる「吟詠とは」のコーナーと、機関誌『吟道』に毎月掲載している巻頭詩

などを適時更新した。

- ③ 吟詠を学びたい不特定多数の者に、市町村レベルで当学院の認可団体・認承団体の教場を検索できるようホームページに掲載した。

(9) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図った。

(10) 教本に関する質問への回答

教本の内容に関する質問は、原則、認可団体・認承団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付け回答した。

- (11) 公益目的事業を達成する為、定時社員総会及び業務執行理事会・理事会並びに各委員会・各局・各部などの会議を147回開催した。

(12) 吟道会館の建設

日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と不特定多数の者への普及啓発活動等を全世界に発信する拠点とする為、また、現在失われつつある吟詠関連の貴重な資料を後世に残す為、公益性を重視した多目的見地から当学院の将来を見据えた用途を考慮し、新耐震基準に則った、祖宗範 木村岳風先生の夢でもある「吟道会館」の建設事業を完了し、事後これを健全に運営した。

また、「吟道会館」の維持・管理の為、寄付を全認可団体及び会員並びに一般より受付けた。

なお、「吟道会館」竣工に伴い、平成29年6月10日（土）、第8回定時社員総会後、落成祝賀会を開催した。

(13) 吟詠の関係資料並びに書籍の収集・整理・保管・管理

- ① 「岳風会八十年史」作成・配付を行った。
- ② 祖宗範木村岳風生家を含む木村岳風記念館の資料の整理・保管・管理及び木村岳風記念館・吟道研修センター並びに祖宗範木村岳風墓所の維持・管理を行った。
- ③ 岳風会館及び吟道会館の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行った。

(14) その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支える為の補助事業

収益事業1 吟詠カセットテープ・CD・DVD及び吟詠啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠CD・カセットテープなど、各種教材等を作成して、希望者に頒布した。
- 2 詩吟の副教材として下記の頒布品を希望者に頒布した。
 - (1) 書 籍 『木村岳風』、『詩歌作者事典』など。
 - (2) DVD・CD等 吟聖木村岳風DVD、松井岳洋愛吟韻読抄、全国認可団体代表吟道大会ライブDVD、構成吟「吟詠戦国の三英傑」「風雅の誠」十傑等吟詠集(2)(3)CD、「俳諧歌撰CD第1集」、「俳諧歌撰CD第2集」、「現代名吟選CD 第1集」、「現代名吟選ライブDVD」など。
 - (3) その他 和歌・俳句カード
- 3 その他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子、吟マーク入りハンカチなど。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

- 1 認定証(許證)発行
認可団体の資格審査申請に基づいて、昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査が行われ、級段伝位(17,047名)、師範位(661名)の合格者に認定証(許證)を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

「木村岳風先生66回忌法要及び宣子夫人52回忌法要並びに日本詩吟学院功労物故者会員合祀祭」を、平成29年7月1日（土）、長野県諏訪市地蔵寺に於いて行い、209名が参列、功労物故者会員144柱の合祀を行った。

その他の事業2 吟詠関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗佑55名・宗匠31名・宗帥19名）を贈った。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部86名・ボランティアの部27名・寿百歳の部2名・寿九十歳の部219名・会員増強の部3名）の表彰を行った。

(3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員62名を表彰した。

(4) その他

その他、詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰した。

2 その他

(1) 「会員登録システム」のソフトと会員登録データを現行の会員区分に合わせ対応し、希望する認可団体に配付した。

(2) その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。